



11月

にじいろだより

2020年11月1日発行

香川県指定

子ども発達支援センターこがく

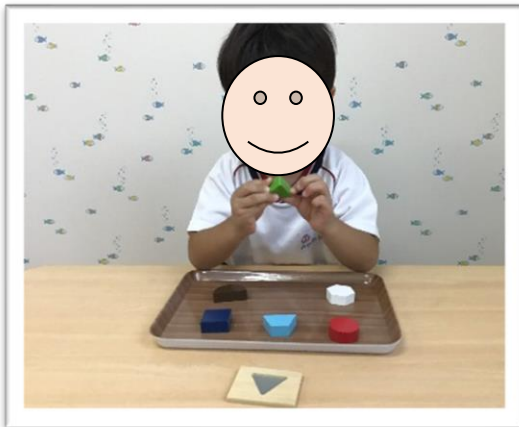
冷たく澄んだ空気に、園庭の木々も色付き始め、秋の深まりを感じるようになってきました。

おゆうぎ会の練習の歌や音楽が、支援センターまで聴こえてきて、わくわくしています。



療育テーマ ～パズルあそび～

パズルと一口にいっても、平面的なものや立体的なものがあり、遊び方や素材もさまざまです。それぞれどのような特徴があるのか紹介したいと思います。



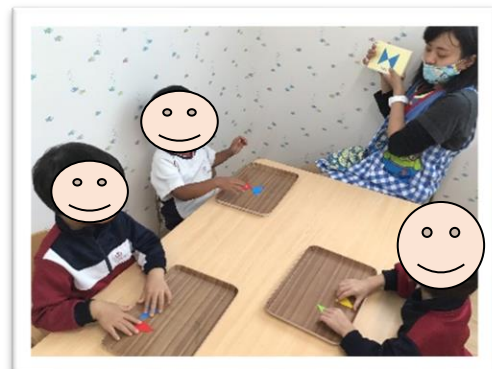
型はめパズル(木製)

型はめはもちろん、積み重ねて遊ぶことや手先や視覚を通して素材の感触や色・形などを認識することが体験できます。



三角パズル(テングラムパズル)

三角形のマグネットを使い、見本を見て形を再現します。図形や空間認知力を養うことで、文字の習得へと繋げていきます。

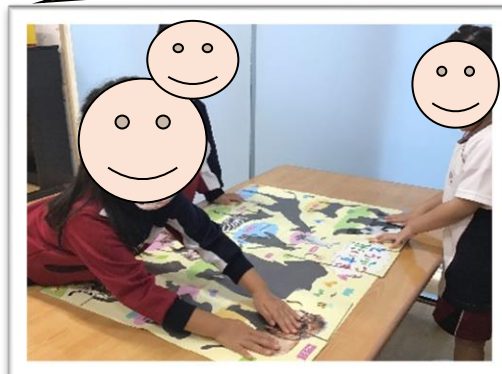


ピクチャーパズル(大型)

大型パズルでは、他児と協力して完成させることで、達成感を味わうことができます。同じパズルでも段階を踏んで取り組んでいます。



① 写真の上にマッチング。



② シルエットで想像力を働かせ組み合わせる。



③見本を見ながら、記憶し、パズルを完成。



～編集後記～

今、幼稚園の子ども達の間で大人気の鬼滅の刃のアニメ映画が、公開初日から3日間で46億円を突破したそうです。我が家の娘達も御多分にもれず、つい先日もアニメを観ていました。鬼と人間が戦う中で、子ども達には少し過激に思えるシーンもありますが、それぞれが深い悲しみを抱えながらも、前を向いて進んでいく姿に、勇気づけられます。「失っても 失っても 生きていくしかないです。どんなに打ちのめされようと。」という主人公の力強い言葉。カッコいい。でも私は、そんなに強くないなあ～。いつも生きる力をくれる皆に感謝です。

保育士 岩倉 奈津子

